次の表により、改正前欄及び改正後欄に対応してそれぞれの標記部分に二重傍線を付した規定（以下「対象規定」という。）は、その標記部分が同一のものは当該対象規定を改正後欄に掲げるものに改め、改正前欄に掲げる対象規定で改正後欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを削り、改正後欄に掲げる対象規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを加える。

改正後	改正前
第１　食品 Ａ　食品一般の成分規格 １～４　（略） ５　（略） ⑴～⑾　（略） ⑿　ジエチルスチルベストロール試験法 ジエチルスチルベストロール及びジエチルスチルベストロールグルクロン酸抱合体を分析対象とする。 １．装置 液体クロマトグラフ・タンデム質量分析計を用いる。 ２．試薬・試液 次に示すもの以外は、第２　添加物の部Ｃ　試薬・試液等の項に示すものを用いる。 アセトニトリル　当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含まないものを用いる。 エタノール　当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含まないものを用いる。 エチレンジアミン－Ｎ－プロピルシリル化シリカゲルミニカラム（1,000mg）　内径12～13㎜のポリエチレン製のカラム管に、エチレンジアミン－Ｎ－プロピルシリル化シリカゲル1,000mgを充塡したもの又はこれと同等の分離特性を有するものを用いる。 β－グルクロニダーゼ溶液　*Helix pomatia*由来のβ－グルクロニダーゼ100,000単位／mlを含む。当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含まないものを用いる。本品の１単位は、フェノールフタレインβ－Ｄ－グルクロニドを基質として、pH5.0、37～38℃において１時間に1.0μgのフェノールフタレインを生成する酵素量又はこれと同等の酵素活性とする。 酢酸エチル　当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含まないものを用いる。 0.1mol／１酢酸ナトリウム溶液（pH5.0） 第１液：酢酸ナトリウム0.82ｇを量り、水を加えて溶かして正確に100mlとする。 第２液：酢酸0.60ｇを量り、水を加えて溶かして正確に100mlとする。 第１液に第２液を加えて混和し、pHを5.0に調整する。 ｎ－ヘキサン　当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含まないものを用いる。 水　蒸留水、精製水、純水等の化学分析に適したものを用いる。当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含む場合には、ｎ－ヘキサン等の溶媒で洗浄したものを用いる。 ３．標準品 ジエチルスチルベストロール　本品はジエチルスチルベストロール98％以上を含む。	第１　食品 Ａ　食品一般の成分規格 １～４　（略） ５　（略） ⑴～⑾　（略） ⑿　ジエチルスチルベストロール試験法 １．装置 液体クロマトグラフ・質量分析計を用いる。 ２．試薬・試液 次に示すもの以外は，第２　添加物の部Ｃ　試薬・試液等の項に示すものを用いる。なお，「(特級)」と記載したものは，日本工業規格試薬の特級の規格に適合するものであることを示す。 アセトニトリル　液体クロマトグラフ用に製造したものを用いる。 グルクロニダーゼ溶液　Helix pomatiaより抽出，精製したβ－Ｄ－グルクロニダーゼ100,000ユニット／mlを含む。 ジクロロメタン　ジクロロメタン（特級） 弱塩基性陰イオン交換樹脂ミニカラム（500mg）　内径８～９㎜のポリエチレン製のカラム管に，カラムクロマトグラフィー用に製造したジエチルアミノプロピル化弱塩基性陰イオン交換樹脂500mgを充てんしたもの又はこれと同等の分離特性を有するものを用いる。 水　液体クロマトグラフ用に製造したものを用いる。 無水硫酸ナトリウム　無水硫酸ナトリウム（特級）。当該農薬等の成分である物質の分析の妨害物質を含む場合には，ジクロロメタン等で洗浄したものを用いる。 ３．標準品 ジエチルスチルベストロール　本品はジエチルスチルベストロール99％以上を含む。 分解点　本品の分解点は208℃である。 ４．試験溶液の調製 ａ　抽出法 検体を細切均一化した後，その5.00ｇを量り採り，0.04mol／１酢酸ナトリウム溶液11mlを加えて細砕し，酢酸を加えてpH4.25～4.75に調整する。これにグルクロニダーゼ溶液100μlを加え，37℃で14時間放置する。これにアセトニトリル16mlを加え，振とう機を用いて５分間激しく振り混ぜた後，毎分3,000回転で５分間遠心分離し，上澄液をすり合わせ減圧濃縮器中に採る。残留物にアセトニトリル16mlを加え，上記と同様の操作を２回繰り返す。上澄液をすり合わせ減圧濃縮器中に合わせ，50℃以下で約３mlに濃縮する。これにジクロロメタン50ml及び５％塩化ナトリウム溶液200mlを加え，振とう機を用いて５分間激しく振り混ぜた後，ジクロロメタン層を採る。無水硫酸ナトリウムで脱水ろ過する。水層にジクロロメタン50mlを加え，上記と同様の操作を２回繰り返す。ジクロロメタン層を合わせ，適量の無水